

5 . 企画委員会報告

(1) 令和元年度活動報告

(1) 総会のアトラクションの中に「江津市音頭」の踊りを導入

7月の総会におけるアトラクションで、「江津市音頭」をみんなで踊れば、お祭りムードになって会が盛り上がるのではないかとということで企画させて頂きました。全く初めての試みなので、とにかく踊りの振り付けを覚えるために、まず有志の人達で集まって稽古をしようということになり、令和元年5月19日に新宿御苑に集合しました。8名の方の参加を頂き、御苑の中で1時間ほど稽古をしましたが、行楽客が立ち止まって見物していくなど、「江津よいとこ来てみんない・・・」の歌に合わせて踊りながら、思わぬところで江津の宣伝ができました。

総会の当日は、山下時子さんの歌謡ショーのあと、宴会の終盤で踊りを披露しましたが、音楽が鳴り始めると、江津からの来賓の方々も踊りの輪の中に入って来られて、所狭しとばかりみんなで踊りまくり、和気あいあいの中に宴は終了しました。

(2) 秋の見学会を実施

平成30(2018)年10月にオープンした豊洲市場が、一般の観光客向けにも公開されて話題になっていましたので、話題性が旬なうちにみんなで見ておいた方がよいかと思い、「豊洲市場の見学会」を企画させて頂きました。春先に企画委員2名で下見に行き、令和元年9月7日に実施いたしました。

応募した時には約20名の方が参加を予定されていましたが、当日は残暑が厳しかったためか、9名の参加に止まりました

見学会の様様詳細については「豊洲市場を探訪」というタイトルでホームページにて報告させて頂きます。

(3) 江の川会ゴルフコンペ

春季コンペ：5月22日 高坂カントリークラブ 参加者16名

秋季コンペ：11月6日 取手国際ゴルフクラブ 参加者14名

(2) 令和 2 年度活動計画

本年度は何と言いましても、7月から8月にかけてオリンピック、パラリンピックという国家的なイベントがあるという大前提のもとに計画を立てなくてはならず、オリンピック前の6月に総会を実施することが既に決まっていたから、オリンピック、パラリンピック終了後の適当な時期に恒例の「秋の見学会」をと大まかに考えていました。

しかしながら現在コロナウィルスの前で日本国民、殊に都市部の人々は全員人質になっている状況下にあります。有効な治療薬が開発されてこの状況から解放されるまでは団体活動を休止せざるを得ません。個人的にも自分自身が後期高齢者であることもよく自覚した上で慎重に活動して参りたいと存じます。

3月30日、オリンピックが1年後にスライドして延期されることになりましたので、関東江津会の諸行事も1年後にスライドされると想定して、一応基本的な考え方だけ如何に列記しておきます。

(1) 総会におけるアトラクションについて

総会では昨年が続いて「江津市音頭」の踊りを昨年よりも多数の会員の参加を促して、みんなが徐々にでも踊りに馴染むようにしていく。これを毎年繰り返して積み重ねていくことにより、江津会に一体感が湧き出て、会を盛り上げていくことが出来るのではないかと考えています。

(2) 秋の見学会について

秋の見学会については、日本全体がオリンピックを満喫した後の脱力感に浸っている時期なので、何かいつもよりピリッとしたことをやった方がよいかなと色々と思いを巡らせております。それと会員の年齢が高齢化の一途をたどっていることも考慮して、暑い時期は避けて、あまり体力を消耗するようなことは除外しなくてはということも考えています。昨年、女子会の方達は、少人数で歌舞伎鑑賞をされたようですが、これに習って、たとえば帝劇のミュージカルとか宝塚を鑑賞するなど、高齢者が元気の出るようなイベントを考えてみてもよいかなと思っています。予約をとる都合などの課題もありますので、それはまた次の役員会までに具体案を提示できるようにしてまいります。